



一般社団法人 多文化社会専門職機構

文部科学省委託 令和7年度現職日本語教師研修プログラム普及事業「地域日本語教育コーディネーター研修」

講義10 夏期研修Ⅱ事前課題 —「実践活動計画」の策定

課題を設定し、実践活動計画の策定を行うためのポイントについて学ぶ。

土井佳彦

(多文化社会専門職機構・多文化共生リソースセンター東海)



一般社団法人 多文化社会専門職機構

文部科学省委託 令和7年度現職日本語教師研修プログラム普及事業「地域日本語教育コーディネーター研修」

講義10 夏期研修Ⅱ事前課題—「実践活動計画」の策定

講師：土井佳彦

多文化社会専門職機構・多文化共生リソースセンター東海 代表理事

1979年、広島生まれ。大学（副専攻）で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生らを対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。2008～2012年、名古屋大学「とよた日本語学習支援システム」で初代システム・コーディネーターを務める。2016～2024年、文化庁（現・文部科学省）「地域日本語教育アドバイザー」として、各地の日本語教育施策の企画立案や運営支援に携わる。



一般社団法人 多文化社会専門職機構

「実践活動計画」の策定



令和7年度 地域日本語教育コーディネーター研修 地域日本語教育コーディネーターコース
事前課題Ⅰ「実践活動計画書」

一般社団法人 多文化社会専門職機構 (TaSSK)

提出先：多文化社会専門職機構事務局 (Email: nihongo@tassk.org)

提出期限：2025年8月4日(月)18時必着

下記様式3ページ以内に収めて作成してください。後日、演習ファシリテーターよりコメントを記入いたしますので、Word形式のまま提出してください。ファイル名は、「(ご自身の受講者番号)_お名前_R7 実践活動計画」をお願いいたします。

ふりがな 名 前	受講者 番 号	地
所 属		
職 名		
実践地域(都道府県・市区町村名)		
地域日本語教育プログラムまたは教室の名称		
地域日本語教育プログラムの概要	プログラムの実施体制、学習者の属性、主な関係機関などを記入してください。図表などを記載しても構いません。	
課 題	あなたがコーディネーターとして関わる実践活動(地域日本語教育プログラム・教室等)の課題について記入してください。※複数ある場合は主な活動についてご記入ください。	
上記課題を設定した理由・背景	なぜ、上記を課題だと考えましたか。コーディネーターとして実践地域(教室)の問題状況をどのようにとらえていますか。あるいは、実践地域(教室)で実現したいビジョンと現状の間にはどのようなギャップがありますか。それらをふまえて記入してください。	

指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025年9月	*「中間報告書(発表要旨)提出(締切：9月26日(金))
2025年10月	*秋期研修(中間発表) 10月3日(金)
2025年11月	
2025年12月	
2026年1月	
2026年2月	*「実践活動報告書」提出(締切：1月23日(金)) *冬期研修(最終報告) 2月6日(金)
2026年3月	<3月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。>

提出者コメント(自由記述)

今後の実践に向けて、不安な事や助言を受けたいことなどありましたらご自由にご記入ください。

--

< 課題設定の**前**に >

- ✓ 自分なりに、どんな地域/活動を目指したいかイメージがある
- ✓ その中で、ゆずれないものや大切にしたいことがある
- ✓ 自分の理想と現実の間に「ギャップ」を感じている



「夏期研修Ⅰ」の中で、新たな気づきやヒントを得て
「夏期研修Ⅱ」以降での**チャレンジ**の準備はOK？

ふりがな 名 前		受講者 番 号	地
所 属			
職 名			
実践地域(都 道府県・市区 町村名)			
地域日本語 教育プログラ ムまたは 教室の名称	<p>(例) 「生活者としての外国人」のための基礎日本語学習事業</p> <p>「日本語サークルあいうえお」</p>		
地域日本語 教育プログラ ムの概要	<p>プログラムの実施体制、学習者の属性、主な関係機関などを記入してください。図表などを記載しても構いません。</p> <p>(例) 主催：〇〇国際交流協会（〇〇市委託事業） 学習者の属性：技能実習生、家族滞在、ALT、日本の大学進学希望者 主な関係機関：〇〇市〇〇課、ハローワーク、△△町内会</p>		

課 題	あなたがコーディネーターとして関わる実践活動（地域日本語教育プログラム・教室等）の課題について記入してください。※ 複数ある場合は <u>主な活動</u> についてご記入ください。
上記課題を設定した理由・背景	なぜ、上記を課題だと考えましたか。コーディネーターとして実践地域（教室）の問題状況をどのようにとらえていますか。あるいは、実践地域（教室）で実現したいビジョンと現状の間にはどのような <u>ギャップ</u> がありますか。それらをふまえて記入してください。

< 課題設定のポイント >

① 課題 = ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は○○、でも現実は□□

（例）理想は指導者と学習者が1対1で、
学習者のニーズに応えられている状態。

でも、現実は・・・

- ・ 1対4で、個別対応が困難
- ・ 1対1だけど、学習者のニーズに応えられていない

< 課題設定のポイント >

① 課題 = ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は〇〇、でも現実は□□

（例）理想は参加者が楽しく自由におしゃべりできている状態

でも、現実は・・・

- ・教科書のモデル会話に沿っているだけ
- ・文法中心で、指導者ばかりが発話している

< 課題設定のポイント >

① 課題 = ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は〇〇、でも現実は□□

（例）理想は参加者が主体的に活動に取り組んでいる

でも、現実は・・・

- ・ 一部の中心メンバーだけで運営している
- ・ 主催者からの指示待ち

< 課題設定のポイント >

① 課題＝ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は○○、でも現実は□□

（例）理想は日本人も外国人も対等な関係性が築かれている

でも、現実は・・・

- ・ 「○○先生」「生徒さん」と呼んでいる
- ・ 日本人だけで教室運営をしている

< 課題設定のポイント >

① 課題 = ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は〇〇、でも現実は□□

（例）理想は生活に必要な日本語力が身につけている

でも、現実は・・・

- ・ 日本語能力を評価・測定していない
- ・ 参加人数や満足度ばかりを重視している

< 課題設定のポイント >

② コーディネーターとしての課題

あなたがやるべきこと、あなたにしかできないこと

(例) 予算が足りない

でも、現実には・・・

- ・ 予算の確保・編成は（担当）がやっている

< 課題設定のポイント >

② コーディネーターとしての課題

あなたがやるべきこと、あなたにしかできないこと

(例) 自分自身の日本語教育の専門知識や経験不足

でも、現実・・・

- ・ 日本語を教えるのは（指導者）がやっている

< 課題設定のポイント >

② コーディネーターとしての課題

あなたがやるべきこと、あなたにしかできないこと

(例) 3年間の有期雇用では長期的なビジョンが描けない

でも、現実には・・・

- ・雇用形態・期間等を決めるのは（担当）

< 課題設定のポイント >

③ 自分の努力だけでは解決できない

足りないリソースを探す・集める・使ってみる

(例) オンラインで指導できる人が少ない

- ・ 市外・県外・国外に声掛けできる人を探す
- ・ 自団体以外のウェブサイト・SNSでも発信してもらう

< 課題設定のポイント >

③ 自分の努力だけでは解決できない

足りないリソースを探す・集める・使ってみる

(例) 若い人同士の交流機会が少ない

- ・ 高校生や大学生に声掛けできる人を探す
- ・ 教室活動以外での交流への参加を促す

< 課題設定のポイント >

③ 自分の努力だけでは解決できない

足りないリソースを探す・集める・使ってみる

(例) 学習者の日本語力を測るツールがない

- ・他団体がつくった評価ツールを活用させてもらう
- ・定期的に外部の専門家に評価しに来てもらう

< 課題設定のポイント >

① 課題＝ビジョン（理想）と現実とのギャップ

理想は〇〇、でも現実は□□

② コーディネーターとしての課題

あなたがやるべきこと、あなたにしかできないこと

③ 自分の努力だけでは解決できない

足りないリソースを探す・集める・使ってみる



指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	* 「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））」
2025 年 10 月	* 秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	* 「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） * 冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

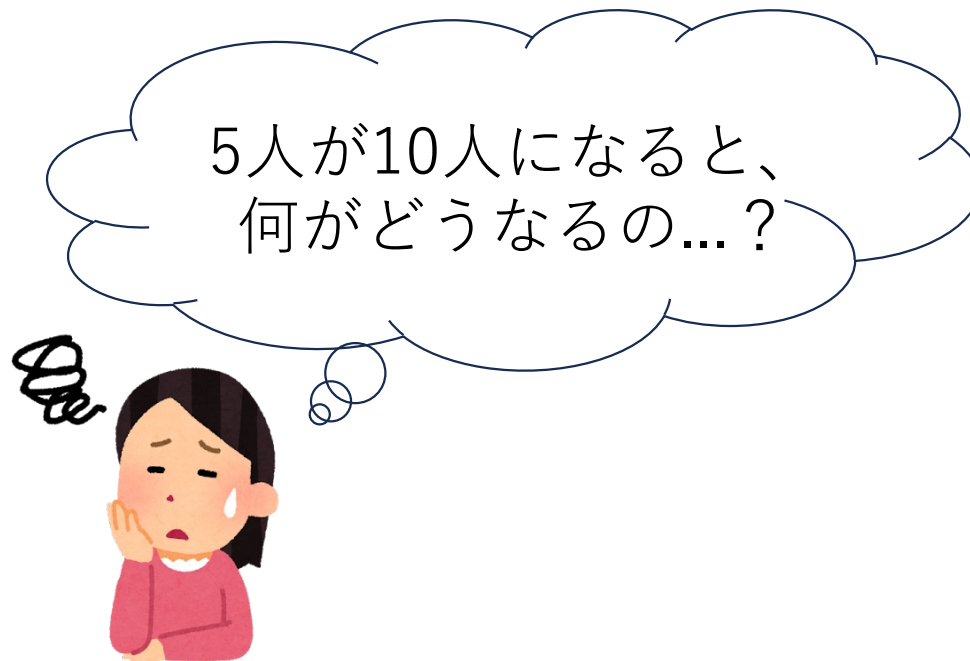
状態目標 = 何がどうなっているか

行為目標 = 状態目標に近づくために、
必要なことがどのくらいできているか

< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

(例) 学習者が少ない(現状 5 人) → 10人を目指す！



< 指標設定のポイント >

カテゴリー		人数	備考
A	外国人住民	100	母数
B	15歳以下	10	対象外
C	60歳以上	5	優先度低
D	短期滞在	1	対象外
E	特別永住者	2	優先度低
F	留学	4	優先度低
G	技能実習	8	優先度低
小計	(A-B~G)	70	
H	日本語学習希望者	80%	調査結果
I	既存の学習者	5	継続
J	他団体の学習者	11	調査結果
今後の学習機会提供対象 =		40	

目標10人でいいの!?



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

~~(例) 学習者が少ない(現状5人) → 10人を目指す！~~

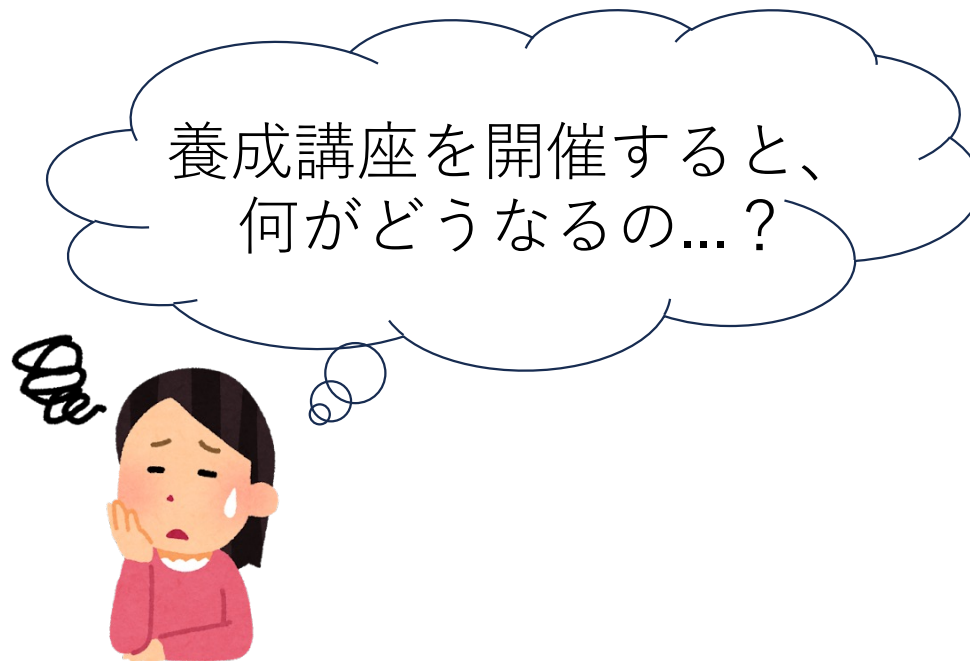
(例) 主な対象者とする外国人40人が、
日本語学習機会を得られている状態を目指す！



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

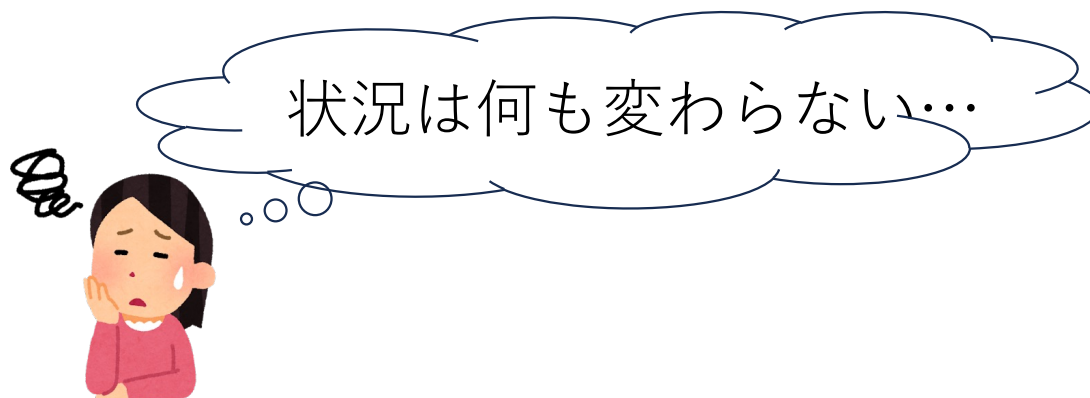
(例) 指導者が足りない(現状5人) → 養成講座を開催する！



< 指標設定のポイント >

実は、過去に日本語指導者養成講座を開催してみたけれど・・・

- 終了後に1人しか参加してくれなかった（5人必要だったのに）
- 終了後に10人も参加希望者があった（5人でよかったのに）
- ますます高齢化が進んだ（若い人に来てほしかったのに）
- ますます専業主婦率が高まった（企業経験者に来てほしかったのに）



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

~~(例) 指導者が足りない(現状5人) → 養成講座を開催する！~~

(例) 企業経験者3名を募集し、求職活動や
仕事に役立つ日本語が教えられる状態を目指す！



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

(例) 指導者が高齢化している(平均68歳) →若い人を増やす！

高齢者が多いと、何が問題なの..？
若い人が増えると、何が解消されるの？



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

~~(例) 指導者が高齢化している(平均68歳) → 若い人を増やす！~~

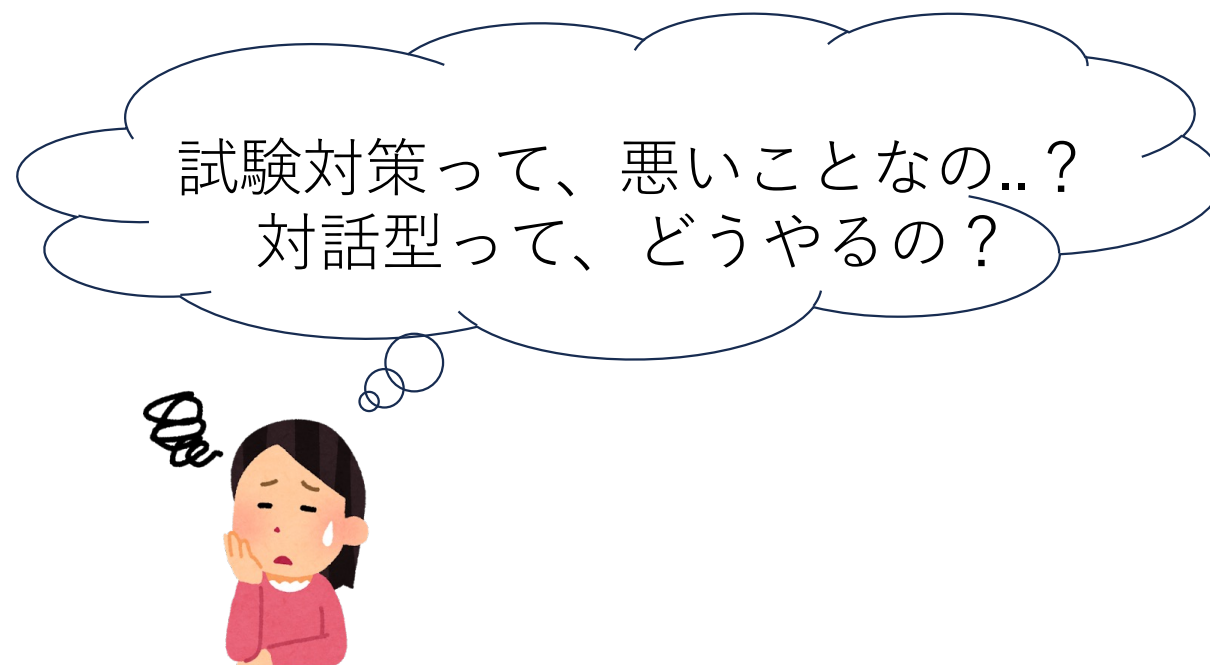
(例) 多世代の人が参加できている状態を目指す！
学習者が同世代の人とも交流できている状態を目指す！



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

(例) 文型指導・試験対策から対話型・交流型の活動に変える！



< 指標設定のポイント >

① 状態目標と行為目標を分けて設定

~~(例) 文型指導・試験対策から対話型・交流型の活動に変える！~~

(例) 必要な日本語が習得できている状態を目指す！

指導・学習方法の選択肢がある状態を目指す！



< 測定のポイント >

② 目標はSMARTに

Specific 具体的か

Measurable 計測可能か ← 数える, 比べる, 尋ねる

Achievable 実現可能か

Relevant ビジョンと合致しているか

Time-bound 期限が設定されているか

< 測定のポイント >

② 目標はSMARTに

Measurable

計測可能か

←数える, 比べる, 尋ねる

(例)

- その地域に学習機会を必要としている人は何人いるか？
- その方法での学習機会を必要としている人は何人いるか？
- コース開始前と後で日本語力はどう変化しているか？
- コース開始前と後で受講者数はどう変化しているか？
- どんな学習内容を必要としているか？
- 学習内容や方法はどうだったか？

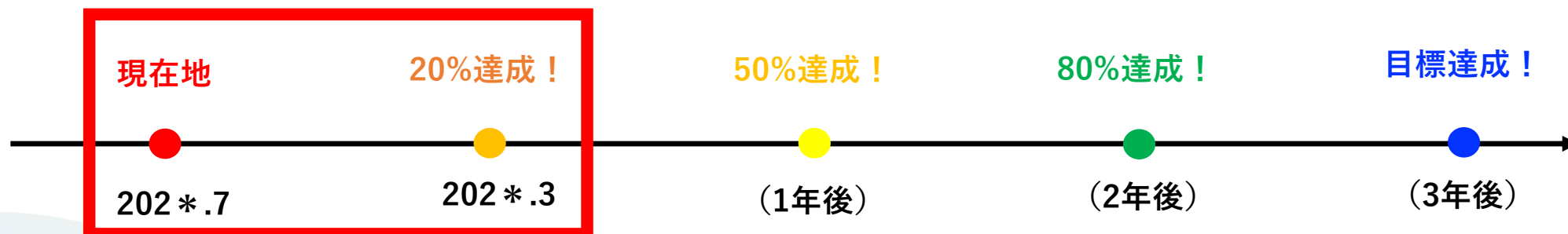


指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	* 「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））」
2025 年 10 月	* 秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	* 「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） * 冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

< 計画策定のポイント >

① いつまでに、どこまで改善したいのか

目標達成時期（仮設定）からの逆算



< 計画策定のポイント >

① いつまでに、どこまで改善したいのか

目標達成時期（仮設定）からの逆算





指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	* 「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））
2025 年 10 月	* 秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	* 「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） * 冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

 **当面の目標**

 **最終目標**

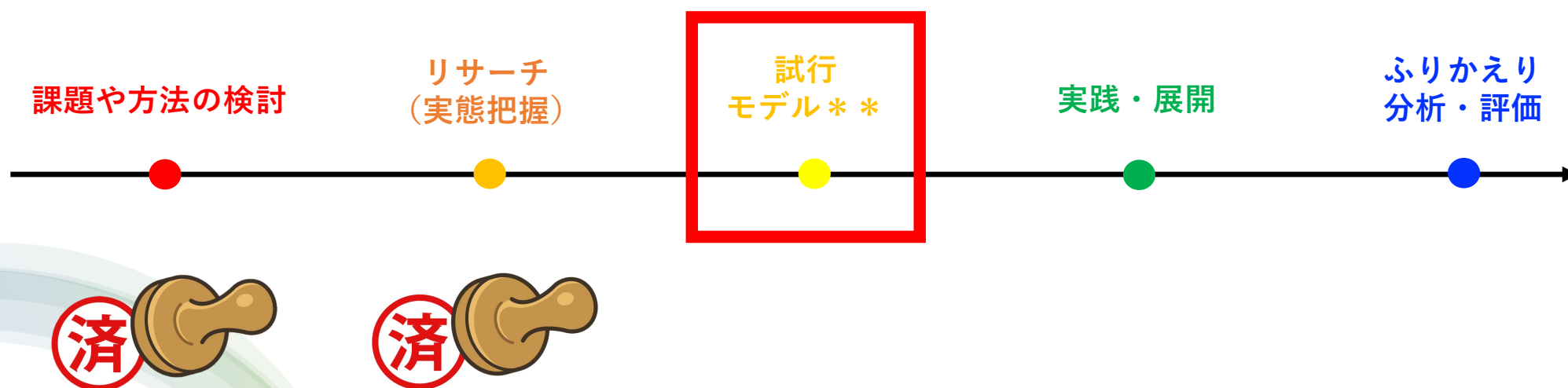


指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	* 「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））」
2025 年 10 月	* 秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	* 「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） * 冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

< 計画策定のポイント >

② 今できていることと、これからやるべきこと

検討、リサーチ、試行、実践、ふりかえり・分析、改善策の検討、改善



< 計画策定のポイント >

② 今できていることと、これからやるべきこと

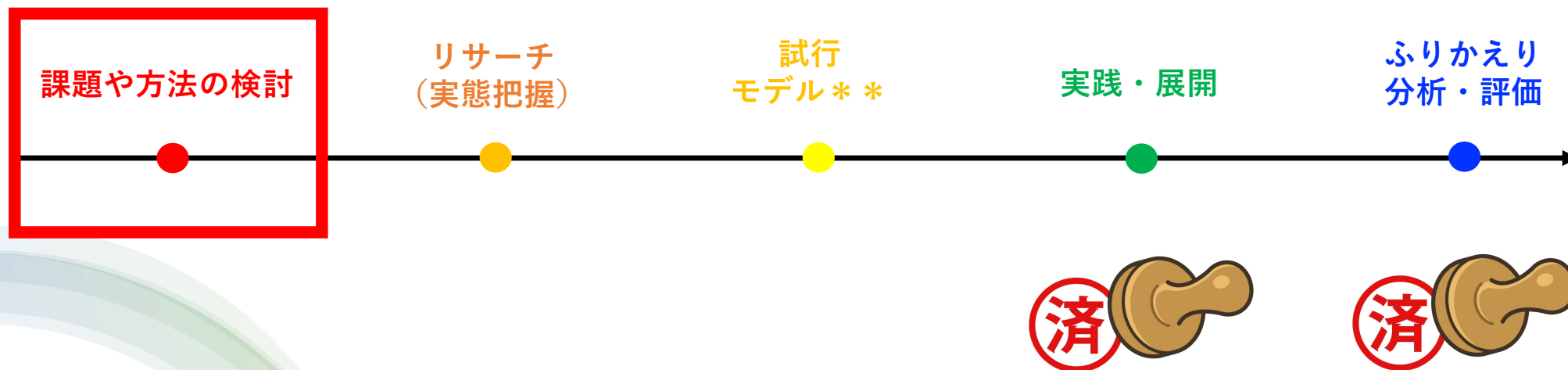
検討、リサーチ、試行、実践、ふりかえり・分析、改善策の検討、改善



< 計画策定のポイント >

② 今できていることと、これからやるべきこと

検討、リサーチ、試行、実践、ふりかえり・分析、改善策の検討、改善



< 計画策定のポイント >

③ どのようなプロセス（過程）を踏むか

If you want to go fast, go alone.

早く行きたければ、一人で行け

If you want to go far, go together.

遠くまで行きたければ、みんなで行け

< 計画策定のポイント >

① いつまでに、どこまで改善したいのか

目標到達時期（仮設定）からの逆算

② 今できていることと、これからやるべきこと

検討、リサーチ、試行、実践、ふりかえり・分析、改善策の検討、改善…

③ どのようなプロセス（過程）を踏むか

If you want to go fast, go alone.

If you want to go far, go together.

課 題	あなたがコーディネーターとして関わる実践活動（地域日本語教育プログラム・教室等）の課題について記入してください。※ 複数ある場合は主な活動についてご記入ください。
上記課題を設定した理由・背景	なぜ、上記を課題だと考えましたか。コーディネーターとして実践地域（教室）の問題状況をどのようにとらえていますか。あるいは、実践地域（教室）で実現したいビジョンと現状の間にはどのようなギャップがありますか。それらをふまえて記入してください。
指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法・項目で成果を測定し、だれに説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	*「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））
2025 年 10 月	*秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	*「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） *冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

（例）

【VISION】生活に必要な最低限の日本語力(A2)が身に付く
学習機会が**公的に保障**されている社会

【課 題】A2レベルの日本語力が身につくまで
学び続けられる環境が整っていない

【理 由】A2レベルの日本語力を身につけるには、200～300時間
程度の学習機会が必要だが、現状は**年間50時間程度**しか
ない。また年間8割以上の出席率は**半数以下**である。
よって、教室に参加しても必要な日本語力が身についている
人は**ほとんどおらず**、事業の成果が出ていない。

【計 画】再来年度からの事業拡充に向けて調査・体制整備等を行う。
今年9月～ A2レベルの日本語力が身に付く環境整備に向けて
他地域の取組調査や専門家へのヒアリングの準備
10月～12月 調査・集計・分析
1月～ 3月 自団体＋有識者による検討会議開催（2回）
★目標達成時期：**来年7月頃**

【指 標】A2レベル到達を目標に設定された他地域のコース5箇所
以上のカリキュラムや教材、指導方法、運営上の工夫等
について整理ができ、自団体での展開に向けて必要な
リソース等が把握できている。

【測定方法】カリキュラム・教材・評価ツールの収集、・・・他



課 題	あなたがコーディネーターとして関わる実践活動（地域日本語教育プログラム・教室等）の課題について記入してください。※ 複数ある場合は主な活動についてご記入ください。
上記課題を設定した理由・背景	あなたが上記の課題を課題だと考えましたか。コーディネーターとして実践地域（教室）の現状をどのようにとらえていますか。あるいは、実践地域（教室）で実現したいビジョンと現状の間にはどのようなギャップがありますか。それらをふまえて記入してください。
指標と測定方法	いつ、だれが、どのような方法で成果を測定し、だれが説明しますか。
実践活動計画：上記の課題を解決するための具体的な実践活動計画を記入してください。 ※あくまで現時点での計画で結構です。	
2025 年 9 月	*「中間報告書（発表要旨）提出（締切：9 月 26 日（金））」
2025 年 10 月	*秋期研修（中間発表） 10 月 3 日（金）
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	*「実践活動報告書」提出（締切：1 月 23 日（金）） *冬期研修（最終報告） 2 月 6 日（金）
2026 年 3 月	〈3 月以降の見通しや目標達成時期についてご記入ください。〉

<おわりに>

あなたがこれからチャレンジすることが達成できたとしたら、
あなたが思い浮かべる地域／活動に近づくことができるでしょうか？
もし、そうでないとしたら、勇気を持って、

最初の「課題設定」に戻って考え直してみてください。

コーディネーターとしては、不適切な課題をなんとかこなすことではなく、

「適切な課題設定」ができることが、とても大切な役割です。